

日華



初夏のひと時



令和4年度 社会福祉法人浄山会 事業報告

I より良い介護の実践

安心した生活を送るように

入居者の新型コロナウイルス感染は累計3名で、京都府内施設においてクラスター感染が多数発生していたなか、当苑ではクラスター感染を抑えることができた。このことは、徹底した感染対策を実施してきた結果であると一定評価することができる。また、面会を制限しているなか、多目的ホールでの面会、ベランダからの窓越し面会、オンライン面会を実施し、入居者とご家族との大切な繋がりの機会を確保することができた。

入居者の尊厳を尊重したケアプランの作成

入居者の残存能力、潜在能力に着目したケアプランの作成を目指すことができた。また、人としての尊厳の保持に努めることを心掛けることができた。LIFE（科学的介護情報システム）よりフィードバックされた情報を包括的自立支援プログラムと融合させて考えることができた。

医療的ケアの実施

(1) 新型コロナの影響により地域医療体制が逼迫し、新型コロナウイルス感染以外の疾患による受診・入院等の通常医療においても不安を抱える時期もあったが、地域医療機関との連携を図ることにより、医療面の対応を適切に行うことができた。

(2) 職種間の円滑な連携を心掛けることで、重篤な事故等もなく、安全で苦痛の少ない医療行為を提供することができた。

(3) 委託医および協力医療機関が年度途中に変更となつたが、入居者へ安定した医療ケアを提供できるよう新たな体制を整えることができた。

感染予防医療と衛生管理の充実

(1) 施設内研修を通じて理解を深め、日常生活における衛生管理の徹底と発生予防に努めた。

(2) 各感染症の流行状況等について、委員会にて情報収集し、周知・共有することにより、施設の感染予防対策に活用することができた。

(3) 感染予防マニュアルを開闢する施設員会（リスクマネジメント・医療的ケア委員会）で随時見直しを行い、適切な予防対策を行えた。

(4) 新型コロナウイルスの感染予防については、毎日の施設内消毒、職員の手洗い、うがい、手指消毒、マスク・ゴーグル（フェイスシールド）の着用を徹底し、感染源の持ち込みの防止に努めることができた。

(5) 当苑における感染者の累計は下記のとおりとなった。新型コロナウイルスの感染発生時においては、感染予防マニュアルに基づく各種感染対策の実施および行政の指示・指導に沿った対応を行い、いずれもクラスター感染に至ることなく感染拡大を抑制することができた。

【新型コロナウイルス感染】 入居者：3名 職員：19名 【インフルエンザウイルス感染】 入居者：1名 職員：3名

II 看取り介護の充実

尊厳を大切にした看取り介護

「尊厳」ということを看取り介護においてだけではなく、人権擁護、身体拘束とも合わせて研修内容に組み込む等、職員意識の向上に努めた。

看取り介護の支援

11名の入居者が看取り介護にて最期を迎えた。面会を制限しているなか、お看取りの入居者に関しては感染対策を徹底したうえで居室面会を行っていただけ、最期までご家族と共に過ごしていただける時間を提供することができた。また、日々の状況を一層家族に理解していただけるよう留意し、個人の尊厳とご家族とのつながりに配慮した支援を行った。

III 個人に適した食事の提供

入居者一人ひとりの嚥下・咀嚼を日々観察し、各部署の意見も聞きながら、食事形態の見直しを適切に行うことができた。

看取り介護の食事提供においては、入居者の状態に合わせ無理なく介助するよう心がけ、各部署と連携をとり対応することができた。

IV 地域社会とのつながり

ここ3年間のコロナ禍における社会全体の活動停滞による地域行事の自粛・縮小を受け、地域活動への参加もほぼ無くなってしまっている現状であるが、今春からの社会活動の拡大に合わせできることから地域活動への参加を行っていきたい。

ボランティアの受け入れ

今年度も一年を通して屋内でのボランティア活動の受け入れを中止せざるを得なかつたが、ボランティア団体よりビデオレターや手紙をいただき、各プロアで観賞会を行えることができた。屋外での園芸などの活動は、継続して行っていただくことができた。

実習生の受け入れについて

前々年度・前年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策により、すべての実習についての受け入れは見送ることとなった。

V 施設サービスの質の向上に向けての取り組み

満足度調査を実施し、施設サービスに対する客観的な評価を受け、今後の施設運営にあたって参考となる意見等を得ることができた。

VI 人材確保・育成・定着に向けての取り組み

職員の採用・育成・定着に関する取り組みについて、「きょうと福祉人材育成認証制度」の基準・要件を包括しつつ以下内容を実施した。

採用

(1) 計21名を採用（正職員1名、契約職員2名、パート職員5名、派遣職員13名） (2) パート職員1名を正職員へ雇用転換

(3) パート・派遣職員を、求職者事情に合わせた勤務日数・勤務時間により採用

育成

施設の職員育成計画に基づき、下記研修を実施した。

(1) 新入職員研修（入職時の1日研修）	計 2回	(2) 施設内研修（月別の研修テーマで月1回実施）	計 12回
(3) 全体研修（人権擁護・身体拘束適正化のための研修）	計 2回	(4) 全体研修（感染症及び食中毒の予防のための研修）	計 2回
(5) 全体研修（事故発生防止のための研修）	計 2回		
(6) 外部研修 看取り介護関連	計 1回	ユニットリーダー研修（オンライン・実地）	各 1回

定着

職員の定着に資するよう、下記取組を実施した。

(1) 職員満足度アンケート (2) 処遇改善の実施（介護職員等ベースアップ等支援加算による手当の創設）

課題

令和4年度は入職者数21名、退職者18名（正職員3名、パート職員7名、派遣職員8名）で総数では前年度より増えているが、朝・夕・夜帯に従事する正職員等は減少しており、一人あたりの負担（夜勤数・超過勤務など）は増している。退職者については、1年未満で退職する職員が6割（過去5年間）を占めている。離職率を下げ職員の定着を促進するため、特に新入職員への教育・指導・フォローアップ等の整備が必要と考える。

VII 収支状況

新型コロナウイルス流行以降、入居稼働率については令和2年度-82.9%、令和3年度-87.5%と低い水準であったため、令和4年度は回復を図るべく目標稼働率を95%としていたが、入居者および職員の感染が断続的に発生したことなどから、新入居の受け入れを思うように加速させることができず87.2%に留まった。支出について、主にコロナ・ウクライナ情勢に起因する物価高騰の影響を大きく受け、電気代が前年度比で年間約400万円（30%）増となった。電気代高騰はしばらく続くと予想されることから、令和4年12月から翌年1月にかけて施設全照明のLED化を行った。

VIII 災害・感染症への対応力の強化

災害・感染症が発生した場合に備えての備蓄品については一定維持することができた。法定により令和5年度末までに策定・実施が必要な事業・業務継続計画の策定・訓練・シミュレーションの実施については、定められた期間内に実施できるよう進める。

IX 新型コロナウイルスへの対応 【令和2年度から継続している内容を含む】

職員が実施した基本対策

(1) 手洗い、うがい、手指消毒 (2) 共用部の次亜塩素酸ナトリウム消毒 (3) マスク着用、毎日の検温および行動記録
(4) 三密回避（時差出勤、時差休憩）、換気 (5) 不要不急の外出自粛 (6) 公共交通機関による通勤の削減 (7) WEB研修の実施
(8) 対応マニュアルの策定 (9) 職員PCR検査（定期／週1回） (10) 職員抗原検査（随時） (11) ワクチン接種（5回）

面会

令和2年2月から現在に至るまで通常の居室面会を制限し以下面会を実施。

(1) オンライン面会（LINEアプリ使用）…常時 (2) 多目的ホールでの面会…施設が感染リスクが低いと判断した時期

(3) ベランダ面会…緊急事態宣言・まん防措置期間を除く

理美容

令和2年3月から令和4年5月まで訪問理美容を中止。※実施中止期間中は、美容師資格を持つ施設職員により順次散髪を実施。

感染対策備品の導入・設置・消耗品の備蓄

(1) 非接触型温度計の導入（来苑者の検温用に玄関設置） (2) アクリルパネルの設置（食堂談話室、職員詰所、来客用パーティション）
(3) マスク、アルコール、防護ガウン、フェイスシールド、N95マスクの備蓄

職員感染（業務上において感染した場合）への備え

(1) 感染症見舞金（保険対応）の支給（令和2年11月） (2) 特別休暇の付与（令和4年7月）

基幹業務を継続するための備え

基幹業務担当者（会計事務、請求事務、給与事務等）が感染・濃厚接触に至った場合でも、遠隔で必要な業務を行える環境を整備。

令和4年度 社会福祉法人淨山会 決算報告

貸借対照表 法人全体

令和5年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	87,756,104	流動負債	69,903,548
固定資産	485,635,044	固定負債	86,892,000
(基本財産)	434,760,805	負債の部合計	156,795,548
(その他の固定資産)	50,874,239		
		純資産の部	
		基本金	128,038,000
		国庫補助金等特別積立金	153,742,279
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	134,815,321
		(うち当期活動収支差額)	△6,352,095
		純資産の部合計	429,626,244
資産の部合計	573,391,148	負債及び純資産の部合計	573,391,148

事業活動計算書 法人全体

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	246,106,474	介護保険事業収益	341,923,141
事業費支出	54,128,429	経常経費寄附金収益	414,000
事務費支出	32,563,565		
利用者負担軽減額	0		
減価償却費	22,418,701		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△6,678,548		
徴収不能引当金繰入	541,000		
サービス活動費用計	349,079,621	サービス活動収益計	342,337,141
支払利息	1,268,185	受取利息配当金収入	4,765
その他のサービス活動外費用	256,636	その他のサービス活動外収益	1,369,440
サービス活動外費用計	1,524,821	サービス活動外収益計	1,374,205
国庫補助金等特別積立金積立額	0	施設整備等補助金収益	0
次期繰越活動増減差額	134,815,321	その他の特別収益	541,000
		(当期活動増減差額)	6,352,096
		前期繰越活動増減差額	141,167,417
費用の部合計	485,419,763	収益の部合計	485,419,763

新入居者紹介

福井照子さん

朗らかで、職員と冗談も交わすお茶目な可愛らしい方です。生け花教室をされていましたこともあり、丁寧に職員にも教えてくださいます。

櫛田初子さん

社交的で面倒見がたいへん良い方です。櫛田さんがいらっしゃるとフロアに笑顔と笑い声が溢れ、雰囲気が華やかに明るくなります。

湯浅敏子さん

上品で穏やかな湯浅さんは、出来ることはしたいとお手伝いをよくしてくださいます。几帳面な方で、拭かれた机はピカピカです。

葛城房枝さん

物知りな葛城さんは、京都の事に詳しく伝統や豆知識まで教えてくださいます。野球がお好きで、阪神ファン歴は六十年以上です。

柄崎喜久枝さん

名前をお呼びすると「はあい」と愛嬌のある返事があります。素敵な笑顔とあいまつて、思わずこちらも笑顔になるチャーミングな方です。

傍島喜代子さん

明るく元気いっぱいの傍島さんは、お話しが大好きな方です。ユーモアもいっぱいでお喋りをしていないと体調が悪くなるんだそうですね。



1階介護職員紹介

毎日ご入居者と一緒に過ごしている一階職員を紹介します。
※写真撮影時のマスクを外しています



小仲 泰平

入職6年目、ユニットリーダーとして日々奮闘中！
休日は、バイクで宮津の祖父母の家に行ったり、和歌山までダイビングに行ったりと、もうノリノリです!!



依田 真央

仕事と家事の両立で毎日バタバタと時間に追われながら過ごしています。
休日は、5歳の愛娘と公園や川で虫取りや魚取りをして、わんぱくを発揮します！



高橋 謙子

最近は車の運転が楽しく、プチ旅行に出かけています。また、両親にいつまでも元気でいてほしいと思い、一緒にドライブやカフェに行っています。とても親孝行ですね！



児玉 みどり

スケートショー鑑賞や野球観戦で、テンションアゲアゲにして仕事に励んでいるのです！休日は、街をブラブラ散策して、花屋に寄ったり買い物をしたりしてリフレッシュしています！



中塚 淳司

前職を定年退職し、介護初任者研修修了後、つきかけ苑に入職。毎日体力勝負で体重が少しづつ減ってきたそうです。
休日は、趣味のウォーキングと家事もこなして、とてもパワフルです。

一階のフロア目標

丁寧な介護～初心に戻り入居者個々に合ったケアを

丁寧な介護は当たり前のことがですが、改めて基本的なことを確実にできるようにすることを目標として1年間取り組んでまいります。

四年目の夏

梅雨も明け、本格的な夏が到来しました。「酷暑」という言葉も当たり前になつてしましましたが、本夏もすでに毎日のように最高気温記録更新などの報道を目にします。

今年は四年ぶりに祇園祭が通常開催したということもあり、酷暑の中であつても来場者は八十万人以上と大盛況であつたと聞きます。そこにはマスクもソーサヤルディスタンスも無く、三年間の我慢を晴らすかの如く、人々は自由に祭りを楽しんでいました。

新型コロナウイルスの5類感染症移行後、市内のあるところに国内・国外からの観光客を見かけ、飲食店やタクシー業界が、人手不足で観光客の増加に対応できないといった状況を耳にし、急速に社会は日常を取り戻してきたように感じます。ただ、ウイルス自体が無くなつた訳でもなく、高齢者や疾病者にとってのリスクは変わりません。我々のような介護・医療業界が、世の中の動きから取り残されてしまい、この先ずっと制限された生活を強いられることに懸念を感じざるを得ません。当苑もこの課題に対し検討を重ねてきました。そして可能な限り日常を取り戻し生活を継続していただこうとの結論に至りました。具体的には、あくまで感染防止対策の継続、状況を確認しながらとなります。面会時には感染対策・消毒等のご協力を願いさせていただこうとも思つておりますが、詳細については状況判断した上、ご連絡差し上げる予定です。繰り返しとなります。皆さまのご理解とご協力、合わせてご意見等もお聞かせいただければ幸いです。宜しくお願ひいたします。

ゞ支援ありがとうございます

ご寄付とご寄贈

令和四年度 敬称略 順不同

八木彩世・續木泰子・桑室敦子・亘重好
株式会社朱常分店・京都水産協会・京都青果協会

ご登録いただいているボランティアの皆

令和四年度 敬称略 順不同

工藤了子・琴伝流大正琴花水木・モンキー・ポッド・フラワーシスターズ・藤鳴会・長谷陽子・岩崎あづき・新田稔・かりん・柴田香代子・原悦子・田花洋子・青木俊子・橋本幸一・森川貞子・梅木富久子・
續木泰子・福原則子

要望受付

令和五年四月下旬から六月にいたしましたご要望は、「たまに職員付き添いで歩く時間を作つてほしい」「しっかりと歯磨きができるか確認してほしい」「施設の外と一緒に散歩したい」とご家族から三件ございました。

頂戴しておりますご要望は、ケアプランの立案や各種委員会、フロアミーティングなどで検討し、ご入居者の生活がより豊かになるように努めてまいります。各行政機関の要望受付窓口（市・区・国民健康保険団体連合会）及び第三者委員会（地元学区民生委員など）へのご相談も活用ください。

つきかげ苑理念

私たちには、自立支援・自己決定・生活の継続性・個別性を大切にします。

「共生（ともいき）」思想に基づく、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の流行から、もう三年が経過しましたが、コロナ過で学生生活を送ることとなつた子供たちの三年間はとても長く感じたことでしょう。人の成長速度は身体的にも精神的にも年齢とともに減速していくよう思います。大切な時期に制限のある生活を過ごした子供たちはどのような大人になるのだろうか。そのようなことを、小学生になつたばかりの息子が宿題に名前を書いている姿を見て、考えておりました。また、歳を追うにつれ学ぶ意識が薄れていくなかで、人として現状に満足せず柔軟に学び、成長し続けていきたいと思つた次第です。

社会福祉法人 浄山会

介護老人福祉施設

つきかげ苑

